

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 子どもの放課後居場所づくり事業 八石ココフレンド実行委員会（第1回）
開 催 日 時	平成30年5月14日（月） 午前10時から11時まで
開 催 場 所	八石小学校 ココフレンドスタッフルーム
出 席 者	大柳 幸江、和田 とき子、松村 健太郎、川島 美千子 丹野 厚子、金子 智子、山田 圭子、吉澤 直美 計8名
事 務 局 職 員	金子教育総務部副部長兼生涯学習スポーツ課長・藤田主任 高野
会 議 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 挨拶 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 役員の選出について (2) ココフレンド登録児童数について (3) ココフレンド開始から終了まで～児童の動き～について (4) ココフレンドのお約束について (5) 八石ココフレンド今後のスケジュールについて 4 その他 5 閉会
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第資料 ・平成30年度新座市子どもの放課後居場所づくり事業八石ココフレンド実行委員会名簿 ・八石ココフレンド実行委員会名簿（案）
そ の 他 の 必 要 事 項	特になし

審 議 の 内 容 (審議経過、結論等)

1 開会 (司会：高野)

2 挨拶 (金子課長)

3 議事 (説明：藤田主任)

(1) 役員の選出について

意見が出されなかったため、事務局の提案により、「平成30年度 新座市子どもの放課後居場所づくり事業 八石ココフレンド実行委員会 役員名簿 (案)」のとおり承認された。また、これ以降の議事については、実行委員会設置要綱第6条の規定により、委員長が行うこととなっているため、進行役を大柳委員長にお願いした。

(2) ココフレンド登録児童数について

事務局から次第資料 (P2) にて次のとおり説明した。

- ・ 4月24日 (火)・25日 (水) の2日間で申込受付を行ったところ、在籍児童321名に対し、161名の登録があり、登録率は、50.2パーセントとなっている。既に開設している9つのココフレンドの登録率は概ね4割から5割となっている。東野小、東北小、栗原小は既に6割の登録となっている。この3校は長期休業日の午後も開設する学校である。どの学校も追加登録があるので、八石ココフレンドも5月31日 (木) の開設以降も登録が増える見込んでいる。

(3) ココフレンド開始から終了まで～児童の動き～について

事務局から資料 (P3～4)「ココフレンド開始から終了まで～児童の動き～ (通常)」のとおり説明した。

委員 始めから、ホワイトボードにマグネットを自分が居る場所に貼って、午後3時30分に部屋に戻って来るのか。

事務局 実際にホワイトボードを使って説明を行った。

事務局 この部屋が拠点となる。基本の流れとしては、各教室から直接ココフレンドに来る。受付で参加カードを出し、名札を付けてマグネットを移動させ、カバンをロッカーにしまい、宿題に取り組む。

コーディネーター 補足だが、放課後児童保育室に行く児童は、1度、放課後児童保育室に荷物を置きに行き、ココフレンドスタッフが迎えに行く。帰りもスタッフが放課後児童保育室まで送っていく。1年生は集団下校をしており、班ごとに児童玄関に並び下校する。その流れを崩さないためにも、同じくスタッフが1年生の集団下校の場所まで迎えに行く。放課後児童保育室と1年生については、自分で来るのではなく、変則的な形になる。

事務局 放課後児童保育室とココフレンド両方登録している子どもが、中には10パーセントほどいる。1年生は慣れていないので手厚くしてあげるとのことだ。

委員 野寺ココフレンドの場合は、放課後児童保育室と同じ1階なので、そこまでスタッフがいない。1年生は、担任の先生が参加児童を把握をしていて、廊下のホワイトボードに名前が書いてある。

コーディネーター 八石ココフレンドでは、2階の廊下を通らないという、学校との

約束でこの部屋を使わせてもらうので、スタッフが迎えに行ったり、靴の履き替えや移動時にはスタッフがついて活動する予定である。

事務局放課後児童保育室もココフレンドも中身は似ているが、ココフレンドは全児童対象なので登録をすれば誰でも参加できる。一方、放課後児童保育室は保育なので保育に欠ける児童しか申し込めない。全体的な流れとしては大丈夫か。

委員スタッフルームが活動の場所なのか。スタッフというとスタッフの部屋という感じで子どもが活動しているイメージが持てない。

事務局本来は、スタッフ控室などがあればよいのだが、現在では、スタッフルーム兼児童の活動場所として使用している。

委員登録児童が全員来るとは思えないが、この部屋の定員数40名位だと思うが、例えば、80名位参加した時は、どのような対応をするのか。

コーディネーター何人参加するかは当日受付をしなければわからないので、受付をした時点で判断する。教頭先生を窓口として相談し、使える教室の確認をする。候補として上がっているのが、図書室と隣りの和室である。

コーディネーター野寺ココフレンドに見学に行ったが、野寺ココフレンドでは登録児童が337名と八石ココフレの登録数の倍以上だが、当日は36名程度だった。懇談会やイベントがない限りは通常40名程度だということだった。八石ココフレンドもほぼ同様ではないかと予想している。

委員夏休みだけ放課後児童保育室に入室する児童がいるが、おおよそ10名はいると思う。現状で放課後児童保育室の部屋がいっぱいなので、これまで夏休みは和室をお借りしていた。ココフレンドが夏休みも1日開室することになれば、放課後児童保育室が和室を借りられなくなる可能性が出てくるのか。夏休みに向けて、早めに調整をしたい。

(4) ココフレンドのお約束について
事務局から次第資料（P11）にて説明した。

(5) 八石ココフレンド今後のスケジュールについて
事務局から次第資料（P14）にて説明した。

4 その他

委員子どもたちは、水筒は持ってきているのか。

コーディネーター学校で持ってきてよい期間中は持ってきている。

委員水筒の中身がなくなったら水道水を飲むということか。

コーディネーターそうである。

委員学校から「水筒を持ってくることを許可する」というお便りが出る。持って来て良い期間以外は持ってくることを許可されていない。放課後児童保育室に関してはコップの煮沸が間に合わないこともあり、放課後児童保育室以外では飲まない約束をして通年持込みの許可をいただいている。

委員基本的なことに戻ってしまうが、今回の実行委員会のメンバーを見ると、保護者はPTAの会長一人で、少ない気がする。せめてもう一人ぐらいはいてもよいのではないか。実行委員会なので保護者の意見が一番ではないか。今の人数構成に偏りがあるのではないか。

事務局現実的には、コーディネーターとスタッフさんが直接子どもたちを見て

いる。学校現場とココフレンド、放課後児童保育室、更に地域の皆さんで、という意味合いでの組織である。

事務局 保護者の意見としては、毎年ココフレンド登録児童の保護者を対象としたアンケートで伺うようにしている。

委員 ここに参加されている人は仕事をされていて、なかなか話し合いに出て来られないと思うので、PTA会長などが保護者の声などを吸い上げていただき、このような場で聞かせていただけたらよいと思う。

事務局 学校にはPTA組織があり、クラスそれぞれの保護者会があったりするが、ココフレンドでも保護者会のようなものができたらよいという声も聞く。機会をみてやっていけたらとは思っている。実行委員会の目的としては、ココフレンドの運営を見守っていくというところで、保護者の意見は、また別の機会に伺えたらと考える。

委員 実行委員会は学期に1回位か。

事務局 年に2～3回である。

5 閉会（大柳委員長）